

各 位

会 社 名 株式会社 J ストリーム

本社所在地 代表者氏名

東京都渋谷区渋谷三丁目25番18号 代表取締役会長兼社長 白 石 清

(コード番号:4308 東証マザーズ)

問い合せ先 取締役 総務人事部長 保住 博史

電話 03-4363-7100

# 特別損失の発生及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、特別損失の発生と直近の業績の動向等を踏まえ、平成21年2月3日に公表しました平成21年3月期(平成20年4月1日~平成21年3月31日)の業績予想を下記のとおり修正することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

## 1. 特別損失の発生及びその内容

当社の保有する株式のうち、業績の低迷に伴い時価が著しく下落し、その回復が困難であると認められるものについて、減損処理による投資有価証券評価損を71百万円、また、特許実施再許諾の権利取得に伴う長期前払費用について、平成21年3月期の携帯端末のハード面の付加機能の実装動向を勘案したところ、事業化の見込が乏しくなっていることから、24百万円の減損損失を計上する見通しです。また、取引先の業況の悪化を勘案し、貸倒引当金繰入額として20百万円、その他固定資産の除却等に伴い8百万円を計上する見通しです。これにより、連結において特別損失125百万円(個別では特別損失98百万円)が発生する見通しです。

### 2. 平成21年3月期通期業績予想数値の修正(平成20年4月1日~平成21年3月31日)

#### (1) 平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正

(単位:百万円)

|                         |   |   |        | 売      | 上  | 高   | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益   | 1株当たり<br>当期純利益 |
|-------------------------|---|---|--------|--------|----|-----|------|------|---------|----------------|
| 前回発表予想 (A)              |   |   | 4, 565 |        | 35 | 150 | 190  | 95   | 677円18銭 |                |
| 今回修正予想 (B)              |   |   | 4, 635 |        | 35 | 165 | 195  | 5    | 35円64銭  |                |
| 増                       | 減 | 額 | (B-A)  | 70     |    | 70  | 15   | 5    | △ 90    | _              |
| 増                       | 減 | 率 | (%)    | 1.5    |    | 5   | 10.0 | 2.6  | △ 94.7  | _              |
| (ご参考)<br>前期実績(平成20年3月期) |   |   |        | 4, 333 |    | 33  | 397  | 401  | 194     | 1,388円97銭      |

### (2) 平成21年3月期通期個別業績予想数値の修正

(単位:百万円)

|                         | 売 上 高  | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益  | 1株当たり<br>当期純利益 |
|-------------------------|--------|------|------|--------|----------------|
| 前回発表予想 (A)              | 3, 930 | 160  | 205  | 125    | 891円3銭         |
| 今回修正予想 (B)              | 3, 970 | 170  | 205  | 40     | 285円12銭        |
| 増 減 額 (B-A)             | 40     | 10   | _    | △ 85   | _              |
| 増 減 率 (%)               | 1. 0   | 6. 3 | _    | △ 68.0 | _              |
| (ご参考)<br>前期実績(平成20年3月期) | 4,070  | 366  | 403  | 201    | 1,438円98銭      |

### 3. 通期業績予想修正の理由

米国発の金融危機を受けた景気の先行き不透明感から、多くの領域において消費の冷え込みが見られ、これに伴い企業においても支出の絞り込みが見られる状況になっており、当社の主力となる受注領域である広告や販売促進目的を中心に利用される動画配信についても市場環境が悪化しております。当社グループの業績も予想を下回る推移となり、平成21年2月3日に業績予想の修正を行いました。その後、受注活動の強化やコスト削減努力により連結、個別の営業利益、経常利益についてはほぼ予想どおりの推移となっておりますが、前記1. に記載の理由により、連結において特別損失125百万円(個別では特別損失98百万円)を計上する見込であるため、当期純利益において予想を下回る結果となったものです。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び見通しに基づいて作成したものであり、 実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上